



高輪だより

令和3年度 5月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

わくわく ぼかぼか
みんなえがおの
たかなわようちえん

みどりの季節の高輪幼稚園

園長 柿沼 敦子

園庭の木々の瑞々しい葉が日に日に豊かになっています。今まさに園歌の歌詞通り、緑の葉っぱが光り、揺れる幼稚園です。そして木々の間を抜ける風が上空を舞い、こいのぼりが元気に青空で泳いでいます。

高輪幼稚園には、私の大好きな「PTAの歌」があります。長い間PTA総会や高輪コンサートで保護者の方が歌い継がれてきた歌、高輪幼稚園のレガシーでもあります。子を思う親のやさしい歌詞とメロディー、歌う時に、胸にこみ上げるものを感じるのは今も昔も変わらないのではないのでしょうか。昨年度はコロナ禍で歌うことができませんでした。今年度は工夫を凝らした趣のあるものとなりました。

3歳児は、オタマジャクシの水槽を興味津々で覗き込んで、じ〜っとその姿を追っています。4歳児は、砂場わきの池でオタマジャクシ掬いに夢中でした。保育室に連れて行って餌をあげたり、観察したりして親しみました。ついに絵の具でオタマジャクシを描きはじめ、あ〜という間に壁面がオタマジャクシでいっぱいになりました。5歳児は、高輪公園に出かけた時に、池で自分たちの知っている色と違う色のオタマジャクシを見つけて連れて帰り、観察が始まりました。

今年度の園内研究のテーマは「豊かな感性をもつ幼児を育てるー自然との直接的な関わりを通してー」です。幼児が小さな生き物や植物と直接的に関わりながら、心を揺り動かされる体験を重ねていけるよう園内の自然環境を整え、活動を充実させて参ります。

そして、ついにオリンピックの開会式まで100日を切りました。5歳児は、聖火を知っていて、真似して作ったトーチを次の人につないで遊んでいました。社会の事象に関心をもち始める5歳児の姿です。5月の高輪タイムでは、昨年引き続き「たかなわんぴっく」を行います。学年で時差をつけ、親子で楽しく体を動かします。ご協力をお願いいたします。

<今月の指導のねらい>

3歳児

- ・自分の好きな遊びを見つけて楽しむ。
(ままごと、ブロック、塗り絵、砂遊び、虫や草花と関わるなど)
- ・教師と関わることを楽しみながら、安心して自分を表現する。
- ・着替えた服の始末を教師と一緒にやってみようとする。

4歳児

- ・学級の友達と一緒にする活動を楽しみ、思い切り体を動かす気持ち良さを感じる。(体操、鬼遊び、かけっこなど)
- ・園庭の自然物(アリ、ダンゴムシ、草花など)やみんなで植えた栽培物に興味をもち、自分なりに関わろうとする。
- ・所持品の始末、遊具や用具の片付けを丁寧に行ない、整う気持ち良さを感じる。(遊具を分類してしまう、衣服やタオルを畳む、積み木を揃える)

5歳児

- ・友達と一緒にする遊びや活動の中で、自分の考えを言ったり、友達の考えを知ったりしながら一緒に取り組む。
- ・遊びのイメージに合わせて素材や遊具を工夫して使う楽しさを感じる。
- ・栽培物や身近な生き物とかかわることを楽しみながら、気付いたことを友達に知らせたり、不思議に思ったことを調べたりする。

高輪幼稚園PTAの歌

(1)
さみどりの
高輪のその
ひとときをここに
つどえば
楽しいによりそう
いとしまおさなご
ああ われら
幸いいのる
父母なり

(2)
ふりそそぐ
日輪のその
白いくも仰ぐ
おさなご
ともに手をとって
かがやくひとみ
ああ われら
幸いふかし
父母なり

オタマジャクシを
じい〜とみつめる 3歳児



オタマジャクシを伸び伸び描く4歳児



「あのオタマジャクシ、色が違う!」
鋭い観察力の5歳児

